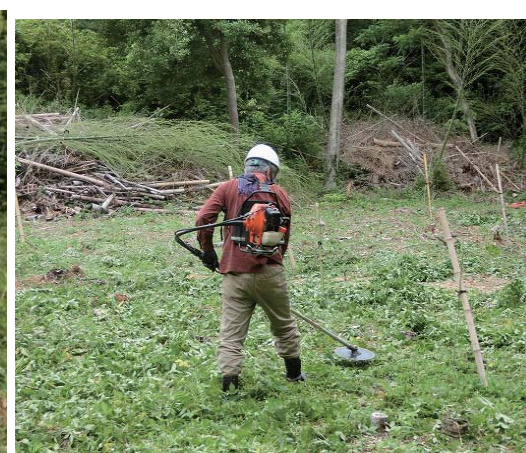


古都大宰府の風を育む会 の目的

国の特別史跡である大宰府政庁跡周辺には四王寺山の山並みと一体となった美しい里山があります。この地区周辺には多くの歴史的資産と豊かな自然環境が方々に点在しています。しかし、この美しい里山も自然に放置したままでは成長の早い竹があつという間に密集し、本来の緑豊かな雑木林が侵されてしまいます。「古都大宰府の風を育む会」はこの里山を程よく手入れし、訪れる人々や近隣の人々に自然のやすらぎを与えるような心地よい自然景観づくりを目的としています。またこの地は多様な生物の生息地でもあります。私たちはこれらの自然環境や多様生物の保全・維持・研究・新たな事業に努め、さらには地域貢献にも寄与したいと考えています。

自然にそっと手を伸ばせば景色は優しく変わります。



里山の手入れ



現場講習・安全講習

古都大宰府の風を育む会 の主な活動

「古都大宰府の風を育む会」は、月一回程度の里山の手入れを中心に活動しています。近年では竹林の伐採を主におこなっています。その伐採した竹を竹炭や竹細工に加工する活動などもおこなっており、さらに新たな竹の活用方法や環境資源の創出など研究中です。私たちは今後さらに活動範囲の拡張やその拡大に努めたいと考えています。

これから 100 年後も
心地よい太宰府の風景を伝えたい

優良森林を育み、地球環境に貢献したいと考えています。

荒れた竹林や雑林も少しの手入れで心地よい景色になります。



いろいろな活動の様子



竹炭づくり



伐採した竹の活用

完成した竹細工